



参加した大学生から感想を伺いました！



みなみ 熊谷 美波 さん  
岩手大学2年  
新町地区出身

今日は地域住民の方とフランクフルトを焼き、祭りの準備をしました。イベントをみんなで盛り上げよう！という地域の一体感を感じました。地域の方が受け入れてくれる雰囲気があり、うれしかったです。



まこと 川口 真 さん  
日本工学院1年  
東京都出身  
葛巻高校卒

高校生のときに事業に参加して楽しかったので、今度は大学生側で参加しました。高校在学中も地域と関わりたいと思っていたので、交流をより深めるためにも、今後もこのような機会があったら参加したいです。



若者関係人口創出事業

つながる住民と大学生との交流

8月15日、江刈馬淵地区の住民と若者関係人口創出事業に参加する学生ら11人が協力し、旧馬淵小学校体育館で盆踊り大会を開催しました。

6年ぶりの盆踊り

令和6年、町の若者関係人口創出事業で県内外の大学生が同地区の地域住民との交流を開始。同11月、新型コロナウイルス感染症の影響や担い手不足などにより実施することができなかった盆踊り大会の準備や運営に携わり、6年ぶりに開催しました。

交流の継続が実を結ぶ

昨年度の交流事業をきっかけに、交流を継続していた大学生も多く、令和7年度も地域住民と一丸となり盆踊り大会を開催。住民や帰省客でにぎわう会場で、大学生らは住民と共に太鼓を打ち鳴らし、祭りをさらに盛り上げました。

江刈馬淵地区の橘広幸さんは「大学生との交流を続けてきたことで実現した。地元でも多くの人を巻き込んだことで住民の意識も変わってきた。この縁を今後もつなげていきたい」と感謝と喜びを話しました。

地域おこし協力隊活動レポート



くずまき山村留学生寄宿舎  
ハウスマスター  
徳田 洋平 隊員

山村生とジンギスカンを食べました！

地域とつながりたい

葛巻町に移り住んで半年。最初は不安でしたが、今では新しい生活にもすっかり慣れ、毎日がにぎやかで充実しています。

勤務している寄宿舎では、高校生の悩みや進路の相談など山村留学生の生活面のサポートを行っています。時には一緒にスポーツや料理、地域行事に参加し、高校生が新しいことに挑戦する姿や成長していく様子を、日々間近で見守っています。今後は、高校生と地域の方が接する機会を増やし、伝



生徒たちとジンギスカン鍋を囲む徳田隊員（右から2番目）

統文化や自然環境を生かした取り組みと一緒に形にしていきたいと考えています。そんな活動の舞台となるこの町は、四季の移ろいを肌で感じられる自然に恵まれています。冬の積雪や春に咲き誇る花々、夏に広がる青々とした草原。自然が生活のすぐそばにあります。また地域の方々との距離も近く、日々のあいさつや何気ない会話から温かさが伝わってきます。小さな一歩かもしれませんが、地域の未来につながる活動を、これからも一歩一歩積み重ねていきたいと思っています。